

第4次総合計画前期基本計画における 令和8年度 政策方針

1 本方針の基本的な考え方

令和8年度は、第4次総合計画の初年度となる重要な年度であるため、これまでの10年間の第3次総合計画期間における取組の成果と反省を踏まえ、町を取り巻く様々な先送りできない課題に対応しつつ、今後10年間の町のさらなる発展に向け、力強く歩みを進めていかなければならない。

本方針は、新たにスタートする第4次総合計画の理念や10年後の目指す姿を踏まえつつ、直近の国・県等の動向や社会経済情勢の変化等も考慮し、令和8年度において、特に重点的に取り組むべき政策課題等について、基本的な考え方を示すものである。

2 政策方針

第4次総合計画の将来像である「もっとつながる ほっと安らぐ ずっと住みたい 美しきふるさと 会津美里町」の実現に向け、5つの政策、14の施策からなる新たな政策施策体系のもと、それぞれの取組を進めていく。

第4次総合計画重点プロジェクト(みさと未来創生プロジェクト)は、「人口減少に負けない持続可能な未来を実現する3つの取組」として位置付けた「I 人口減少を緩やかにする地域創生プロジェクト」、「II 特色ある持続可能な地域づくりプロジェクト」、「III 未来を担う人づくりプロジェクト」の3つの取組であるが、本町の最重要課題である人口減少問題に対して、人口減少を少しでも緩やかにするための「人口減少緩和策」と人口減少を前提としつつも持続可能な仕組みづくりを進める「人口減少適応策」を両輪として、戦略的・重点的に推進していく。

(1) 人口減少を緩やかにする地域創生プロジェクト

本町の最重要課題である人口減少を少しでも緩やかにするため、移住・定住施策や結婚支援、子育て支援を重点的に推進するとともに、農林業、商工観光業等の産業振興を進め、若者の雇用創出、スタートアップのための環境整備や交流・関係人口の拡大に取り組み、まちなかに新たな賑わい・活気を創出する。

令和8年度においては、組織機構改革による新たな推進体制のもと、引き続き移住・定住の促進、交流・関係人口の拡大等による賑わいの創出や農林業を中心とした産業の振興を進めていく。

(2) 特色ある持続可能な地域づくりプロジェクト

高齢化や人口減少に伴う地域コミュニティの生活扶助機能の低下などの様々な地域課題に対して、自主的な課題解決の取組を行う地域住民や地域運営組織等

の活動を支援し、地域の多様なつながりや活力を再生・創出することで、人口減少下においても、それぞれの特色を生かした持続可能な地域づくりを進めていく。

令和8年度においては、組織機構改革による新たな推進体制のもと、各地域における地域づくりのための拠点・体制づくりを進め、これまで地域で行われてきた生涯学習を中心とした活動から、より多面的で地域住民が主体の地域づくり活動への展開に向けたスタートの年とする。

(3) 未来を担う人づくりプロジェクト

「地域とともににある学校づくりと幼小中教育の連携による次代を担う人材育成」を推進し、子どもたちの健全な育成のため、ソフト・ハード両面から教育環境の充実を図る。

令和8年度においても、引き続き3地域それぞれの幼小中教育の連携を進めるとともに、児童生徒の安全な学校生活を確保するため、施設整備を進めていく。

3 重点プロジェクト事業選定の考え方

令和8年度は第4次総合計画のスタートの年であることから、これまでの重点プロジェクト事業の選定方針を見直し、原則として、その年度に全庁的に注力する事業（数事業程度）に限定することとし、既存事業とは一線を画す先進的な取組で、かつ第4次総合計画重点プロジェクトの推進において大きな効果が見込める事業など、各課において重点プロジェクト事業として実施すべきと判断するものについて、経営戦略会議において協議し、その可否を決定する。